

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県 有田川町

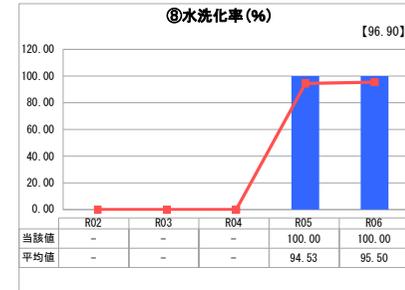
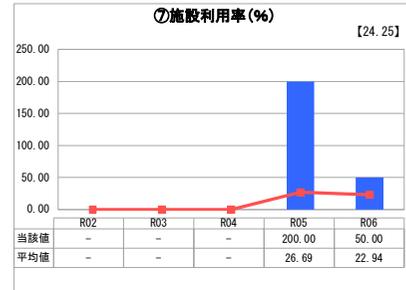
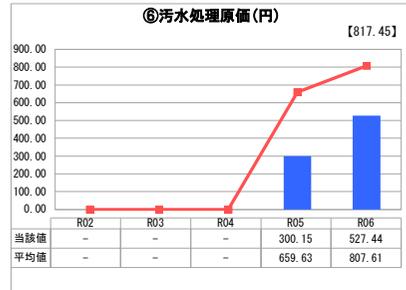
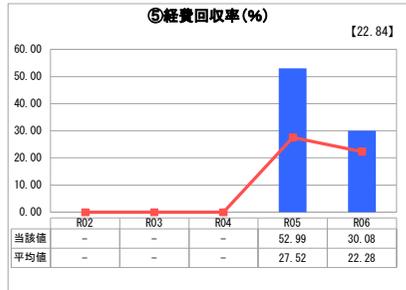
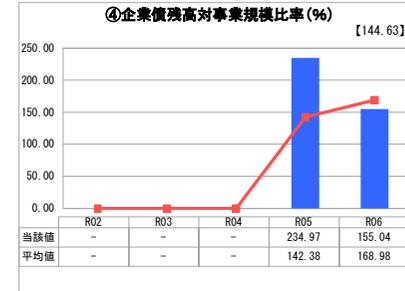
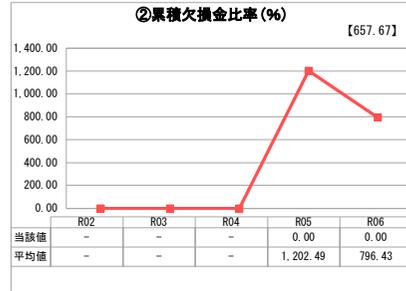
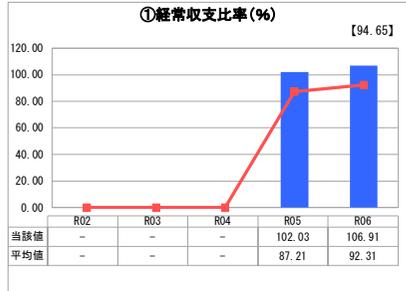
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	簡易排水	J2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	95.73	0.15	100.00	3,630

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
24,954	351.84	70.92
処理区域内人口(人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
38	0.05	760.00

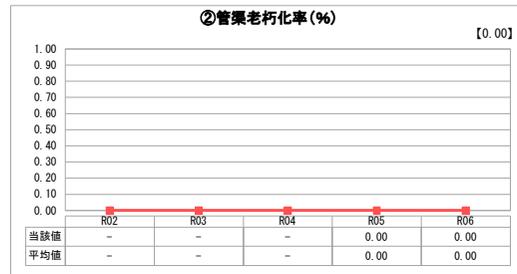
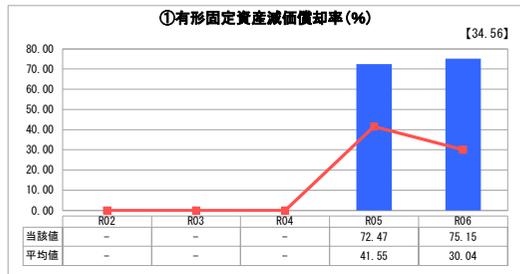
**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率、② 累積欠損金比率  
 経常収支比率が100%を超えていることから、赤字は生じておらず累積欠損金比率もしょうじていない。

③ 流動比率  
 令和6年度は97.96%と1年以内に支払わなければならない負債に対し、未収金を含めた流動資産が不足している。足りないものについては一般会計からの繰り出しにより賄っている状況である。

④ 企業債残高対事業規模比率  
 令和6年度は155.04%と平均値より下回っています。

⑤ 経費回収率  
 令和6年度は30.08%を料金収入で回収すべき経費を賄っているが、不足分については一般会計からの繰り入れにより賄っている。

⑥ 汚水処理原価  
 令和6年度は有収水量1m<sup>3</sup>あたり527.44円となり、今後、経年劣化による改修等により維持管理費が高むことが予測される。

⑦ 施設利用率  
 令和6年度は50.00%となっているが、今後人口減少に伴う加入者および処理水量の減によるオーバーペースとならないよう注視しなければならない。

⑧ 水洗化率  
 100.0%となっている。各指標について、類似団体と比較すると概ね良好な数値を示しており、効率的な経営であると考えられます。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率  
 令和6年度は75.15%と償却が進んだ状態にすることが分かる。当町では、法適用の際に残存価格ではなく取得時から減価償却を行ったため平均値を上回っている。

② 管渠老朽化率、③ 管渠改善率  
 耐用年数を経過していないことから管渠老朽化および管渠改善率は0%である。

## 全体総括

区域内人口が徐々に減少しており、後は使用料収入も減少していくことが予測されます。このことから引き続き健全な経営を続けていくためには維持管理コストの削減及び施設の機能保全に努めることはもとより、老朽化に伴う修繕費の増加に対する財源を確保していくことが必要であると考えます。また、耐用年数を鑑み、更新投資を試算し個別処理への転換も含めたあり方を今後の課題として検討を行う必要があると考えます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。